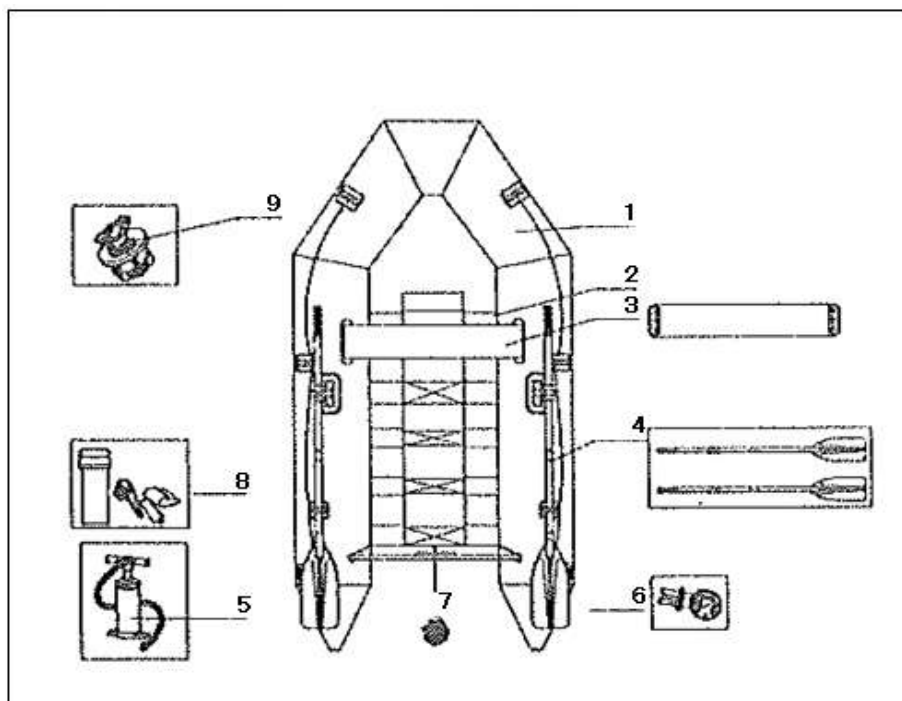
インフレータブルゴムボート 65064 NAV RAPIDS 取扱説明書

使用する前に取扱説明書をよくお読み下さい。

名称	数量
1.ボート	1
2.床板	5
3.ベンチシート	1
4.オール	1 ペアー
5.エアーポンプ	1
6.圧力ゲージ	1
7.ドレンバルブ	1
8.補修キット	1
9.エアーバルブカバー	3

製品仕様

品番	使用サイズ	推奨圧力	最大荷重
65064	270cm x 137cm	0.23bar (3.34psi)	380kg (大人3人)

穏やかな水域とは
波の穏やかな海岸沿い、小さな湾、湖、川や運河等

この製品は、穏やかな水域での使用を目的にデザインされたもので、風力は4、波の高さは通常0.3m以下で使用が可能です。

警告
ボートの破損や乗員への傷害を避けるために、製造元の掲げるデーターを超えた使用はやめてください。

輸入元
株式会社三和コーポレーション
大阪府豊中市小曽根3-9-14　〒561-0813
TEL 06-6336-3933

ボートの組み立て

1. エアーバルブのキャップを外してボードを膨らませます(図1の1)。 この時、内側のスプリングバルブが下がっていないか確認して下さい。 もし下がっていたら(図1の2)、スプリングバルブを押して、時計と反対方向に回して下さい。 そうすれば内側のスプリングバルブは正しい位置に戻ります(図1の3)。 圧力ゲージをホースに取り付けたら、ホースの反対側をポンプの"INFLATE"の文字が刻印されているほうに取り付けます。 0.23bar (3.34psi)まてボードに空気を入れて下さい。空気を入れ終わったらエアーバルブのキャップを締めて下さい(図1の4)。

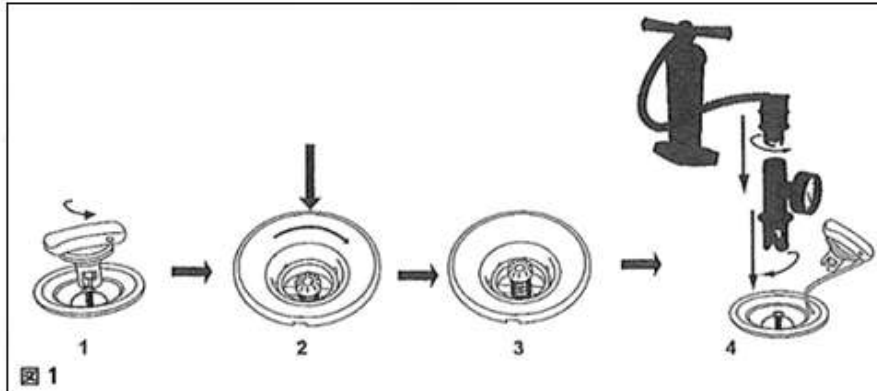
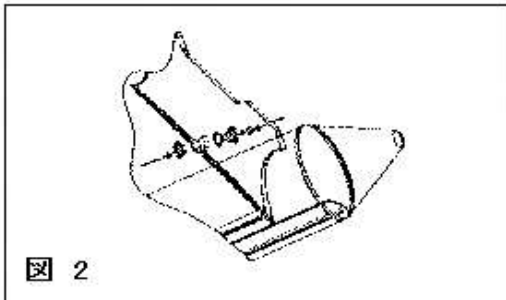
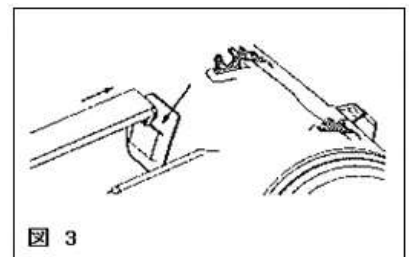
図 1

注意: 空気を入れ過ぎたら、コントロールステムを押して規定のレベルまで空気を抜いて、エアーバルブをしっかりと締めて下さい。
注意: 圧力ゲージは膨らますためだけのものであり、その値はあくまでも参考値です。精度のある機器として使わないようにして下さい。

図 2

2. 船尾のドレンバルブにプラグを差し込んで下さい(図 2)。

注意:

- 専用のエアーポンプのみを使用して下さい。
- モーター駆動の高圧エアーポンプは絶対に使用しないで下さい。
  規定以上の空気が入ることがあります。
- 空気が少なすぎても多すぎても安全に支障を起こします。
- ボートを使用する前には必ず空気圧をチェックして下さい。
- 空気を入れている時にボートを踏んだり物を立て掛けたりすることは絶対にやめて下さい。
- ボートに乗っている時は絶対にエアーバルブのキャップを開けないで下さい。
- ボートを使用する前にバルブがしっかりと閉まっているか確認して下さい。

図 3

座席ボードの取付け

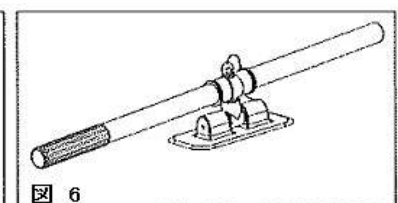
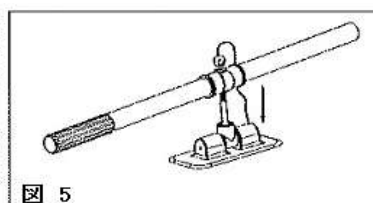
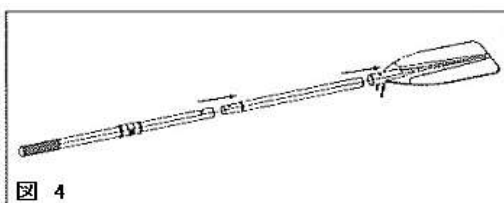
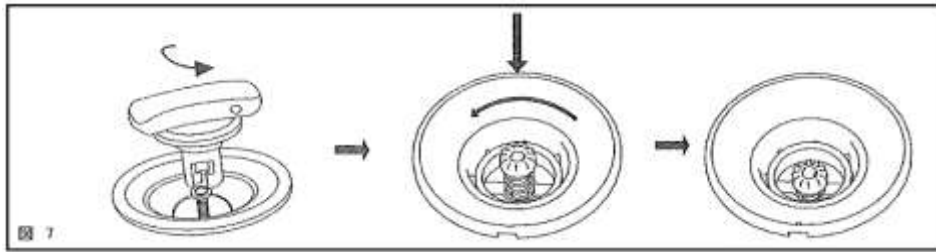
座席ボードのノッチに船の側面にあるフラップを差し込んで座席を留めて下さい(図 3)。

オールの組み立て

1. オールの二つのシャフトを接続します。その時、バネつきのピンが穴とかみ合っていることを確認して下さい(図 4)。
2. オールをオールロックに取り付け、指定の位置で固定します(図 5と6)。
   注: オールを使用しない時はオール留め具にオールをロックして損傷を避けてください。

図 4

図 5

図 6

空気抜き

保管

1. オールロックからオールを外します。 (注:アクセサリーはこれからも使うので保管して下さい。)
2. ボートは、中性洗剤で拭いて下さい。 (注:アセトン、酸、アルカリ性溶液は使用しないで下さい。)
3. 柔らかい布で拭いて表面を乾かして下さい。
   (注:直射日光で商品を乾かさないで下さい。また、電気送風機は絶対に使わないでください。
   船を損傷したり、寿命が短くなります。)
4. 空気を抜くには、エアーバルブを開けてコントロールステムを中に押し込み、バルブが開いた状態になるまで回します。空気圧が一緒に落ちるように、全ての空気室から同時に空気を抜いて下さい。そうすることで、ボートの内部構造への損傷を防ぐことが出来ます。
5. 次にボートの床の空気を抜いてください。
6. ボートを前から後ろに折り畳んで、残っている空気を出して下さい。ポンプを使って残っている空気を抜くことも出来ます。

補修

ボートに穴が開いたら、同梱の接着剤と補修パッチを使って補修して下さい。

使用上の注意

船が転覆したり破裂しないように下記の注意事項をよくお読みください。

1. 規定の人数を超えて乗らないで下さい。搭乗の人数に関わらず、乗員と器具の総重量が決められた耐荷重を絶対に超えないようにしてください。必ずシートあるいはシートのスペースを使ってください。
2. 船に荷物を積むときは規定の重量を超えないようにして下さい。常に注意深く積みこんで、設計された釣り合い(ほぼ水平)を保てるように配置してください。重いものを積み重ねないようにして下さい。
   注: 推奨されている最大荷重には乗員すべての重さ、食糧、設備、荷物、消費液体(水、燃料等)を全て含みます。
3. このボートを使用する時は、ライフジャケットやブイなどの救命具を事前に検品して常時着用して下さい。
4. 使用前には毎回、空気の入る部分、握りロープ、オールやエアーバルブなどの、ボートの構成部分を注意深く検品して、問題がないことを確認してください。もし損傷が見つかったらまず修理をしてください。
5. 空気漏れや浸水に備えてバケツや水をかい出すものや空気入れは常備しておいてください。
6. ボートが動いている時は、水中に投げ出されないように、乗船者は必ず座って下さい。また、ボートのバランスがとれていることを確認して下さい。
   人や積載物が不均等な位置にあると船が転覆する恐れがあります。
7. 必ず岸の近くで乗るようにし、風や潮の流れや波などの自然の要素には十分注意をしてください。
   沖の風の状態や潮の流れに十分気を付けて下さい。
8. 岸に着くときは気を付けて下さい。岩やセメント、貝殻、ガラスなどの尖ったり、ざらざらしたもので船に穴があいてしまうことがあります。表面がざらついたところでボートを引きずらないでください。
9. 番号に従ってそれぞれの空気室に規定量の空気を入れてください。入れ過ぎると船が破裂してしまいます。
10. トウリングでボートを引っ張る時はゆっくりと引っ張って、船を傷つけないように気を付けて下さい。
11. 船の操作に習熟してください。必要な情報やトレーニングが近隣で得られるかチェックして下さい。
   ボート乗り、或はその他の水にまつわる活動に関連する地域の規制や危険について、十分な知識を得るようにして下さい。

※この説明書はなくさないように大切に保管して下さい。